Newsletter





日本養護教諭養成大学協議会 ニューズレターVol.33 会 長 荒木田美香子(国際医療福祉大学)

各種委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・2 協議会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
	• 6
養成大学の展望・・・・・・・・・・・・・・ 4 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 6
1 加水区出	• 6





会長 荒木田美香子 (国際医療福祉大学)

毎年のことではありますが、5月から6月にかけて、養護実習でいくつかの学校を訪問させていただきます。養護教諭の先生方との情報交換の中で、実践における課題を確認し、研究のヒントをもらうなど刺激を受け、自分を奮い立たせる良い機会になっています。皆様も、この時期お忙しくも充実した日々をお過ごしのことと存じます。

日本養護教諭養成大学協議会は今年度の新規加入として、プール学院大学、東京女子医科大学、安田女子大学、順天堂大学をお迎えすることができ、2017年6月末現在で、128大学となりました。本会に期待されることの大きさを自覚するとともに、責任を感じております。現在の役員会体制は一期3年の締めくくりの時期を迎えていますので、しっかりと次期体制に引き継いでいきたいと考えております。

さて、文部科学省より「教職課程コアカリキュラム作成の背景と考え方(案)」へのパブリックコメントが募集されました。本協議会としましては皆様にweb調査でご意見を確認の上、役員会で検討し、3通に分けて、パブリックコメントを提出いたしました。パブリックコメントの内容につきましては、後のページでポイントを報告させていただきます。

コアカリキュラムは、医学教育に始まり、歯学教育、薬学教育においても策定されており、現在、文部科学省高等教育局医学教育課において、看護学教育におけるモデルコアカリキュラムも検討されているところです。つまり、専門職の教育の質を担保する方法の1つとしてモデルコアカリキュラムを定め、社会への説明責任を果たすという一定の方向性があるということがわかります。

「教職課程コアカリキュラム作成の背景と考え方

(案)」には、大学関係者へのメッセージとして、「各大学において教職課程を編成する際には、教職課程コアカリキュラムの内容や『校長及び教員としての資質能力の向上に関する指標』を踏まえるとともに、大学や担当教員による創意工夫を加え、体系性をもった教職課程になるよう留意すること」と記載されています。大学にはモデルコアカリキュラムで求められる能力は共通のものとして、さらに大学の独自性を活かしたカリキュラムを構築していくことが求められています。

また、2017年3月には「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援 ~養護教諭の役割を中心として~」が文部科学省より発表されております。その中にも「各養成機関、教育委員会等において、体系的・計画的な養成・採用・研修により、本冊子で求めている養護教諭の役割を果たすことができる人材を輩出・育成することを期待する」とあり、実践力を持った養護教諭の養成が各大学の責任であると言えます。

今後は再課程認定に向けて舵が切られます。各大学がより効果的な教育に向けた検討ができるよう、本協議会としても、委員会活動や研修、情報提供を行うとともに、何らかの形で、大学間のコミュニケーションを図る努力をしたいと考えております。

-1-

with the same that the same that the same that the

with the the saw the saw the saw the

各種委員会報告

「養成制度(法制度)檢討委員会」 「教育課程(カリキュラム)検討委員会」 活動報告

委員長 大川尚子 (関西福祉科学

「養成制度(法制度)検討委員会」及び「教育課 程(カリキュラム)検討委員会」では、教育職員免 許法の改正に向けてカリキュラムの検討を行ってき ましたが、今回の教育職員免許法の改正において、 養護教諭養成カリキュラムは現行の省令で定めてい る科目名・単位数はそのままになる見込みです。

日本養護教諭養成大学協議会では、以前より教育課 程(カリキュラム)検討委員会で養成カリキュラム の充実について検討してきました。この度の教員免 許法改正にあたり、子供達の健康の保持増員を担う 養護教諭の資質能力の向上を願い、専門科目新設 (「小児疾患論」「保健室経営の理論及び方法」 「健康教育の理論及び方法」)の要望をいたしまし たが今回の省令改正には至らない状況でした。

そこで、5月28日の2017年度の第1回検討委員会で は、養護教諭養成大学の養護専門科目の教育課程の 現状を把握し、今後の養成カリキュラムの充実と免 許法改正に向けての基礎資料とするため、日本養護 教諭養成大学協議会として各大学の養成カリキュラ ムの実態を調査したいと考えました。

この調査では、文部科学省が昨年末実施した調査で は明らかにならなかった、単位増加の根拠を示す資 料となると考えます。また、新設を希望していた

「小児疾病論」「保健室経営の理論及び方法」 康教育の理論と方法」の3科目の内容を取り扱ってい るコマ数についてシラバスを参考に回答していただ き、次回の改正時には必ず養護教諭養成に必要な科 目を追加できるように検討していきたいと考えてい ます。

ご多用とは思いますが、6月27日に事務局からご依 頼させていただいておりますので、ぜひともご協力 くださいますようよろしくお願いいたします。

調査の結果につきましては、9月の総会で速報とし て紹介し、詳細は年度末の活動報告書で報告させて いただきます。





委員長 中下富子(埼玉大学)



FD検討委員会は、2015~2017年度の三年間、養護教 諭養成教育における質的転換を図るため、アクティブ ラーニングの充実を図ることをテーマとしています。 活動方針は、教育職員免許法「養護に関する科目」に おけるアクティブラーニングに基づいたシラバスや授 業の計画、実施、評価、改善について検討することと しています。

FD検討委員会活動は、年3回委員会を開催し、アク ティブラーニングについての研修会、養成教育セミ ナー企画にかかわりまして円滑な運営や委員の役割等、 協議を行っております。

まず初年度である2015年度には、アクティブラーニ ングへの理解の深化を図ることを活動目標といたしま した。養成教育セミナーでは、長崎大学山地弘起氏か ら「アクティブラーニングとは」と題して講演をいた だくとともに、会員の皆様の各大学でのアクティブ ラーニングの取り組みについて情報交換を行っていた だきました。

2016年度は、アクティブラーニングに基づいた授業 実践や評価の充実を図ることを活動目標といたしまし た。養成教育セミナーでは、鎌倉女子大学、新潟青陵 大学、弘前大学の先生方による授業の計画、実施、評 価の取り組みについてご発表いただくとともに、意見 交換を行っていただきました。また、長崎大学川越明 日香氏より「アクティブラーニングの理論と実践の融 合-授業を参観して-」と題し授業デザインや評価に ついて指導助言をいただきました。

さらに、 FD検討委員会では、アクティブラーニン グを活用した授業実践に向け、2017年2月3日(金)長 崎大学で、川越明日香先生のご担当される授業とその 評価方法について授業参観等の研修を行いました。

3年目を迎えた平成29年度は、アクティブラーニン グにおける評価の充実を図ることを活動目標として活 動を展開しております。今年度も「養成教育セミ ナー」をFD検討委員会が企画させていただくこととな り、運営方法等、検討しております。第1回委員会を 2017年6月23日(金)に開催いたしました。授業の評 価方法について、ワークショップ形式で行うことを予 定しており、川越明日香氏を迎えてファシリテーター の役割等についてFD検討委員の研修も含めて実施いた しました。

今年度の養成教育セミナーは、テーマ「アクティブ ラーニングにおける評価-ルーブリック評価の理論と 方法-」について開催いたします。多くの会員校の皆 様にご参加いただけますよう、どうぞよろしくお願い いたします。

日本養護教諭養成大学協議会 2017年度総会および養成教育 フォーラムのご案内

2017年度総会及び養成教育フォーラム

◆日 時:2017年9月**7**日(**木**)

10:00~16:15 (受付9:30~)

◆場 所:きゅりあん・1階小ホール

(東京都品川区東大井5-18-1)

◆内 容:

総会 (10:00~11:10)

委員会報告(11:20~11:50)

養成教育フォーラム (13:00~16:15)

1) 「教職課程コアカリキュラムの在り方と 養護教諭養成の考え(仮)」

文部科学省教職員課初等中等教育局 教職員課 教員免許企画室 担当

教職員課
教員免許企画室
担当官

2) 「現代的健康課題を抱える子供たちへの 支援〜養護教諭の役割を中心として〜」 文部科学省 健康教育・食育課 担当官

今年度は、9月第2週に上記の日程で、開催いたします。開催日(曜日)に、ご注意ください。

9月7日(木)の総会は原則として全ての会員大学のご参加をお願いいたします。参加申込は7月28日までにWebあるいはFAX、郵送にて参加申込用紙を提出してください。総会は、会員大学の所属する方はどなたでも参加できますが、議決権は、1会員校あたり1票です。ただし、期日(7/31)までに会費納入が終了していない会員大学は議決権がありません。

都合により欠席される場合は、「委任状」の提出をお願いしております。<u>委任状は、7月28日までに</u>押印後事務局に提出くださるようお願いいたします。 締切期日前の申込にご協力をお願いいたします。

2017年度 養成教育セミナー

◆日 時:2017年9月6日(水)

13:00~16:50 (受付12:30~)

◆場 所:きゅりあん

(東京都品川区東大井5-18-1)

◆内 容:ワークショップ

『アクティブラーニングにおける評価

ールーブリック評価の理論と方法- 』

講師:川越 明日香 氏

(熊本大学教育統括管理運営機構 准教授)

◆セミナー参加費(資料代含む) :

受付で1,000円を集金いたします。

養成教育セミナーの ご案内

高等教育の課題において、学生数等の量から教育の質の転換へと、早急かつ効果的な取り組みが求められています。FD検討委員会は、2015~2017年度の3年間、「養護教諭養成教育におけるアクティブラーニングの充実」をテーマに取り組んできています。今年度もFD検討委員会が「養成教育セミナー」を企画させていただきますので、ご案内申し上げます。

本テーマ3年目の今年度は、「アクティブラーニング"における評価 - ルーブリック評価の理論と方法 - 」と題しまして、国立大学法人 熊本大学 大学教育統括管理運営機構 准教授 川越明日香 氏をお招きして実施いたします。

ルーブリックとは、授業目的、授業目標にあった評価方法の選定であり、評価の観点毎に学修成果を数段階に分け、学習者の行動を評価するための基準とされています。ルーブリック評価は、客観テストのみでは評価できない、学修成果の可視化を図り、高度で複合的な能力を評価する際に有効とされています。

養成教育セミナーは、まず、全体会で川越明日香先生より講義をいただきます。その後、分科会でワークショップ形式により、教育職員免許法「養護概説」の授業内容について、3分科会で授業の課題(A:レポート、B:グループ討論、C:プレゼンテーション)に対応するルーブリック評価を検討し、作成いたします。全体会では、各分科会で作成したルーブリック評価について報告し合い、川越先生より指導助言をいただくというプログラムになっております。

希望分科会をA・B・Cによりご記入の上、Webにてお申込みください(総会申込アドレスと同様)。

皆様、どうぞ養成教育セミナーにご参加をください ますよう、よろしくお願いいたします。

(FD委員会委員長 中下富子)

情報交換会のご案内

養成教育セミナー後は情報交換会を 計画しております。

会費 5000円

会場は、昨年度と同じく「きゅりあん7階」 になります。

大学間の交流を図ることができる情報交換会 にもぜひご参加ください!

準備の関係で事前申し込みをいただく形になっていますのでご了承ください。

また参加費につきましては当日集めさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局:河田史宝 櫻田淳) -

養成大学の展望

大学紹介 北から南

医療と教育の両面にかかわる知識と技術の専門 性と養護教諭としての指導力を求めて

足利工業大学看護学部看護学科 養護教諭課程 客員教授 鎌田尚子

本学は日本最古の大学足利学校の近くにあります。 15世紀にフランシスコ・ザビエルは、地図と共に足 利学校をヨーロッパに紹介しています。中世から近 代の専門職リーダーに学びの心・礼節・易学・医 学・兵政経等々を授けました。本学は、この伝統と 機織り経済を支え1925 (大正14) 年4月8日仏教の理 念に基づく足利実践女学校を開学し、1967年に足利 工業大学工学部(50周年)、2014(平成26)年四年 制看護学部看護学科を設置、看護師(必修)、保健 師(選択)、養護教諭(選択)の3専攻を開講し希望 者はすべてを取得できます。正門を入ると真ん中に 聖徳太子の像と建学の精神「和を以って貴と為す」 が迎えます。入学式に「自分が、この世に生を受け た意義を考えるとともに、学業の新しい出発を誓 う」と保健医療福祉の専門職としての決意を新たに します。

「和」の実践とは、①柔軟な心で接し、思いやりのある言葉「愛語」をかける。 ②自分中心のあり方をやめ、思いやり(布施)に転換する。③奪い合えば、足らぬ。分け合えばあまる(相田みつを)。学生は穏やかで優しいです。

栃木県内に養護教諭一種免許の取れる大学がないため地元からの期待は大きいですが、時間割は、看護師・保健師の国家試験免許科目で埋まっています。教育職員免許法に定められた科目の大半が看護学科の読み替えですから、学生の学びや知識が原理の理解から健康な発育発達の対象に応用、発展できるかどうかに掛かっています。ヘルバルト派の教育学

「教授・訓練・養護」から導かれる「養護をつかさどる」養護教諭は、医学、看護学、教育学等々の教授された知識理解を、実験、実習、実践、教育活動等々の訓練により確かめ、さらに個々の子供や仲間に応用、体調や人間関係の崩れや助けをする。保健室に相談の養護一その子の発育発達やケースバイケースの知識の理解や支援から生き方を養護教諭は指導します。1,2年生の基礎・教養と医学、看護学、健康学の専門知を深化させるには? 臨床実習の中で児童生徒の健康問題の解決能力に深化、統合させて、「養護をつかさどる指導力にいつ? 結びつくか、結びつけることができるか。」学生と共にアクティブに試みています。養護実習では、学びの心と学び方

の成果が見られ、今後が楽しみです。

花園大学における養護教諭養成教育

社会福祉学部児童福祉学科 浅井千恵子

核家族や共稼ぎの一般化、少子化、地域社会における人間関係の希薄化など進行する中で、家庭や地域の子育ての機能低下があげられています。

本学の児童福祉学科では、このような社会要請に応えるために、人間形成・人間発達の重要な段階である幼児期・学童期に焦点をあて、心身の発達のプロセスとそれに及ぼす社会的要因について「子どもの健全な成長発達のための支援のあり方」の支点から総合的に教育研究を行い、保育所(園)・幼稚園・児童福祉施設・学校現場などで必要とされる基礎的知識、技術、技能を大学での学びや実習を通しての習得に加え、家族や地域社会からの子育てに関する相談や社会・教育関係機関とのあり方等を含めて広い視野から子どもの健全な成長発達に向けて様々な問題を解決できる子育て支援の専門家を養成しています。

また、幅広い視野を持った専門家を養成するため 豊富な実習や演習で発達段階に対応できる実践能 力・問題解決能力を育成するためのカリキュラムを 構成し、保育士・幼稚園教諭・養護教諭の資格が同 時に取得できる特色ある児童福祉学科となっていま す。

その特色のひとつであるある養護教諭養成教育は 子育て支援・感性育成支援・健康支援・過程・地域 支援の4つの支援領域を中心としたカリキュラムで 養護教諭の今日の課題である児童生徒の身体的不調 やいじめや不登校、虐待などの相談など健康面の指 導だけでなく、生徒指導面でも支援ができる専門家 を目指して養成しています。

特に小学校・中学校・高等学校での養護実習では ほとんどの学生が保育所・幼稚園・児童福祉施設で の実習を終えており、実習で習得した乳幼児からの 発達を基盤にして実習に臨む事ができ、その連続性 から児童、生徒との関わりが、たいへんスムーズに 行うことができています。

また、臨床実習においては、大学の講義で保健室と医療のあり方を学んで、実際の病院で保健活動を体験することで、保健活動の組織的活動について理解し、医療現場の流れや内容、様々な職種の役割を理解することができ、また教育と医療の連携が各学校現場において、どのように児童・生徒の健康管理や相談、指導に活かせるのかを考える重要な実習となっています。

今後もさらに、学校現場や社会的ニーズに応えられるようにカリキュラムや実習、授業の在り方等について検討をしていきたいと考えています。

養護教諭関係団体連絡会の経過報告 会長 荒木田美香子(国際医療福祉大学) ត្តសមារ៉ាត្តសមារ៉ាត្តសមារ៉ាត្តសមារ៉ាត្តសម

ニューズレター32号では2016年12月から29年1月に かけての連絡会と文部科学省とのカリキュラム調整 について報告させていただきました。その中で養護 に関する科目」は現行通り28単位となること、「教 育の基礎的理解に関する科目」は6単位(一種)、4 単位(二種)となることなどをお伝えしました。

その後、新年度になり、人事異動などがあり、健 康教育・食育課の体制も、教職員課の体制も変更と なりました。そのため、4月20日は連絡会の代表者ら が文部科学省の両課に挨拶に伺うとともに、これま での経過について説明を行うとともに、今後の関係 性についてディスカッションを行いました。

会議としては4月15日に2017年度第1回の代表者会 議が開催され、荒木田、遠藤副会長が出席しました。 この時の議事は、4月20日の文部科学省への挨拶につ いて、また今後の活動として連絡会としてカリキュ ラムの調査を行うこと、教職のモデルコアカリキュ ラム案が出た時のパブリックコメントなどについて、 検討しました。

また、6月25日に第2回の代表者会議が開催され、 遠藤副会長が出席しました。この会では、上記パブ リックコメント案および、カリキュラムに関する調 査を今年度中に実施する方向性で担当者などについ て検討しました。

- *1. 日本養護教諭養成大学協議会の9月の総会には、 両課より担当者をお招きして、講演していただ くこととなっています。
- *2. 連絡会とは別に、本協議会のカリキュラム検討 委員会に置いても、6月27日~7月7日間にカリ キュラム調査を行っております。この速報は 9月の総会でご報告させていただく予定です。





パブリックコメント提出の経過報告 会長 荒木田美香子(国際医療福祉大学)

2017年5月27日に文部科学省初等中等教育局教職員 課教員免許企画室より、「教職課程コアカリキュラ ムの在り方に関する検討会 教職課程コアカリキュ ラム案に関する意見募集」が出されました。本協議 会としては、5月30日に皆様のご意見を伺うべくメー ル配信し、Web調査を行いました。ご回答いただいた 大学は多くはありませんでしたが、役員会でも検討 し、全体として3意見及び各目標項目などに関する14 の意見を提出いたしました。こでは全体として提出 した3点について、報告いたします。

1. 「学校保健への対応」の明記について

コアカリキュラム案の中に「(3) 学校安全への対 応」が入ったことは大変喜ばしいことであると考え る。しかし同時に「学校保健への対応」が入ってい ない事は残念である。学校保健安全法に示されてい るとおり、子供の安全と健康は、教育の基盤である ことを考えると、今後の見直しの中で、是非「学校 保健への対応」について「タイトル」「全体目標」 「一般目標」「到達目標」の言及をしていただきた

養護教諭教諭養成課程に関する記述について

本教職課程コアカリキュラムは職種(教諭、養護 教諭、栄養教諭)に共通のものであると記載されて いる。しかし、養護教諭については「教育の基礎的 理解に関する科目」は6単位(専修免許および一種免 許)、「道徳、総合的な学習の時間などの指導法及 び生徒指導、教育相談に関する科目」は8単位(専修 免許および一種免許)となると、文部科学省より説 明を受けている。そこで、養護教諭養成課程におい ては、どの目標を教育課程に含めなければいけない のか、できるだけ早く明示していただきたい。

3. 目標の表現について

一般目標は全て「理解している」と言う表現形に なっているが、卒業時点で「実践できる」などの実 践能力に関する項目はなくてよいのか。知識として 理解していれば良いというレベルであるならば、コ アカリキュラムを示すことで、教員の実践能力が担 保できなくなるのではないか、という懸念も感じる。 「理解している」という言葉の中には、実践できる という考え方も含んでいるのであれば、前文などに

-5. そのことを明記していただきたい。

協議会活動報告



【2016年度 第7回役員会】

日時:2017年3月10-13日(メール会議)

主な審議・報告事項

- ①2017年度会員登録及び会費請求書の確認
- ②基本調査の実施方法と内容検討
- ③2017年度養成教育セミナー企画・講師の検討
- ④FD委員会の研修報告
- ⑤学会webサイトの委託先検討
- ⑥予算執行状況、など

【2017年度 第1回役員会】

日時:2017年5月14日(日)11:00-16:00 場所:高知工科大学東京サテライト

出席:荒木田、池添、遠藤、大川、河田、櫻田、 宍戸、下村、津島、中下(50音順、敬称略)

司会:荒木田 記録:竹中

主な審議・報告事項

- ①2016年度活動報告書の作成状況
- ②2017年度総会・養成教育フォーラムの企画・講師
- ③2017年度養成教育セミナー・懇親会の準備状況
- ④カリキュラムに関する会員校への調査内容の検討
- ⑤2016年度決算、2017年度予算
- ⑥今後の委員会活動の方向性
- ⑦学会webサイトの委託先

(庶務:下村淳子)

年度当初の会員校登録及び基本調査に際しまして は、ご協力ありがとうございました。登録の際には 大学番号を記載いただけたおかげで、集約も行いや すく、感謝申し上げます。

2017年度総会、養成教育フォーラム、養成教育セ ミナーの案内、参加申込用紙、総会委任状等を同封 しております。

申込に際しましては、参加申込用紙の説明をご覧 くださり、7月28日までに申込をお願い致します。 養成教育セミナーは、ご希望の分科会をお聞きし、 調整の上で、分科会が決められます。一覧表作成の 都合もございますので、締切期日厳守により申込み をお願い致します。

また、Webからの申し込みにご協力をお願い致し ます。

https://jp.surveymonkey.com/r/yogo29

(事務局:河田史宝 櫻田淳)

会計から

2017年度の活動が始まりました。今年度から各大 学からの会費を3万円に値上げしていただき、順調 に納入されつつあります。また振込みの際大学名の 頭に会員番号をつけていただいたことで、通帳から 振込み大学を読み取るのが大変楽になりました。 いろいろとご協力ありがとうございました。

2016年度は、予想していたように赤字会計となり 理事の先生方の交通費等の支払いを今年度まで待っ ていただき処理を致しました。節約できるところは 節約を考え、役員ができるところはなるべく事務バ イトを使わないようにしたり、印刷費をできるだけ 安くあげられるなどの工夫等、理事全員が節約を心 掛けやっていただいております。今年度も有効な会 費利用を心掛けたいと思っています。

(会計:宍戸)

ホームページ

ホームページでは、養護教諭養成に関する社会的動 向や日本養護教諭養成大学協議会の取組の発信ととも に、養護教諭養成に関わる様々な関係機関や研究団体 との相互の連携を目指して、一新していく予定です。

会員の皆様にはたくさんのご支援、ご協力をいただ くことになるかと思いますが、今年度もどうぞよろし くお願いいたします。

(ホームページ:池添志乃)

編集後記

日本養護教諭養成大学協議会が10周年という節目を迎え、 関係機関の連携を強化するために発足した養護教諭関係団体 連絡会の活動も2年目を迎えます。本ニューズレターの発刊 にあたり改めて養護教諭養成を含め教育界の変革に向き合い 取り組んでいくことの重要性を感じます。今後も会員の皆様 の声を届けていきながら養成大学間のつながりを深められる よう活動をしていけたらと思っています。これからもよろし くお願いいたします。

(池添志乃・櫻田淳・荒木田美香子)

【事務局】金沢大学人間社会研究域学校教育系 河田 史宝

TEL&FAX:076-234-4106(事務局)

Mail: yogojimu@j-yogo.jp

